空知信用金庫・第149回地域企業景気動向調査

景況レポート

2023.10

このレポートは、空知信用金庫が岩見沢・美唄・三笠・栗山・由仁・長沼・南幌・江別に所在の地元企業のご協力により、令和５年７月～９月の景気の現状と令和５年10月～12月の見通しを調査したものです。

令和５年10月末日

空知信用金庫・地域支援部
岩見沢市３条西６丁目２番地１
電話（0126）22-1171

そらちしんきん

第149回　地域企業景気動向調査要項

1．調査地域

岩見沢市・美唄市・三笠市・江別市・栗山町・長沼町・南幌町・由仁町

2．調査対象期間

令和５年７月～令和５年９月期（実績）　令和５年10月～令和５年12月期（予想）

令和５年９月１日～９月７日に実施

3．調査の方法

面接・聞き取りによる調査

標本（調査対象企業）の抽出法としては、標本の業種・規模等の基本属性が、母集団（当金庫融資取引先）の属性に見合う基準にもとづく、有意抽出法によるもの。

4．業況判断指数

Ｄ・Ｉ値による判断

Ｄ・Ｉとは？　Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したもの。
Ｄ・Ｉが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

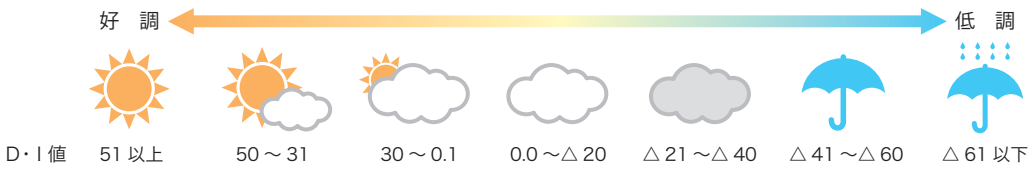
Ｄ・Ｉ値 ＝「増加・やや増加・上昇の割合」－「減少・やや減少・下降の割合」

5．調査対象企業数・有効回答数の内訳

区　分	調査対象企業	有効回答数	有効回答率（%）
製造業	２４	２３	９６
卸売業	１４	１４	１００
小売業	５７	５４	９５
サービス業	３２	２９	９１
建設業	４３	４３	１００
不動産業	７	７	１００
運輸業	１７	１７	１００
農業	２８	２７	９６
計	２２２	２１４	９６

6．天気図の見方

景気指標を総合的に判断して作成



7．特別調査

「中小企業の将来を見据えた事業承継について」

総　合

概　況

景況はやや改善　経済の先行き不透明で動向を要注視

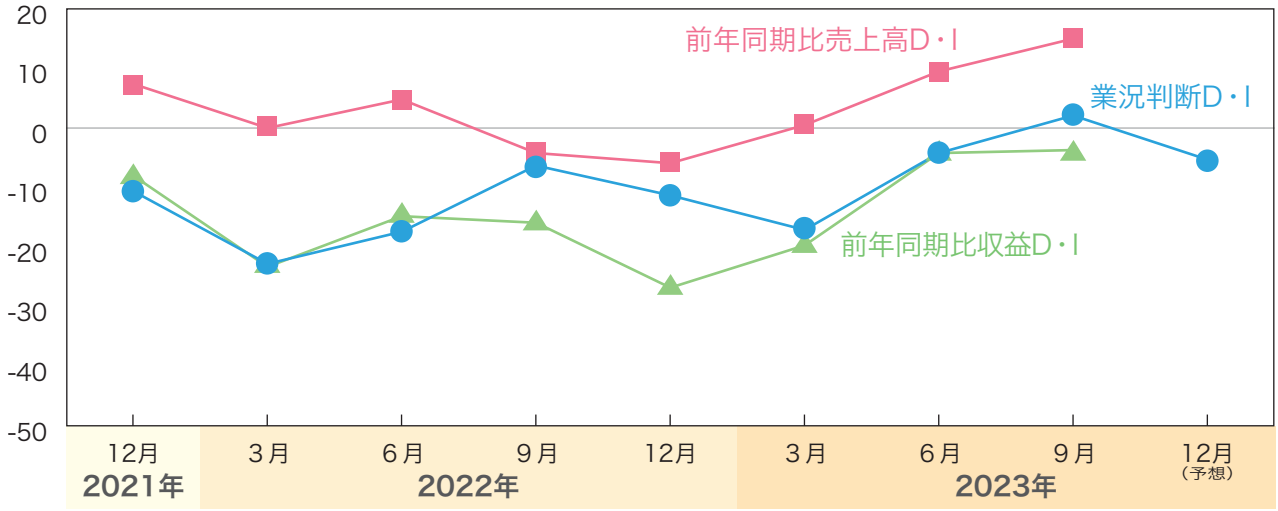
今期の業況判断指数（D・I値）は、2.1と前期（4月～6月）より6.3ポイント改善し、令和元年12月期以来、15期振りにプラス圏内へ転じました。業種別に見ますと運輸業、卸売業、農業、建設業の順に改善、不動産業、サービス業及び製造業で悪化し、小売業では横這いとなりました。売上額D・I値は15.0と前期比5.5ポイント改善しましたが、卸売業と農業で大きく上昇、不動産業・製造業では悪化しました。収益D・I値は△3.7と前期比0.5ポイント改善し、製造業のみが悪化となりました。

	前年同期	前　期	今　期	見通し
業況D・I	△6.3	△4.2	2.1	△5.3
売上高D・I	△4.2	9.5	15.0	－
収益D・I	△15.9	△4.2	△3.7	－

来期の見通しについて

来期の予想業況判断指数（D・I値）は△5.3と今期実績比7.4ポイントの下落が見込まれます。業種別では、サービス業で改善、卸売業で横這い以外は6業種で悪化の見通しです。主要指標の明るさは増したが、人材不足、仕入価格の高止まり等に対する心理要因も影響していると思われます。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前　期	今　期	見通し
製　造	30.4	34.8	13.0	17.4
卸　売	64.3	42.9	35.7	35.7
小　売	49.1	43.7	46.2	27.7
サービス	20.0	36.7	24.1	27.6
建　設	46.5	39.6	51.2	20.9
不動産	28.6	28.6	14.3	14.3
運　輸	23.5	29.4	41.2	29.4
農　業	14.8	14.8	33.3	22.2

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前　期	今　期	見通し
製　造	65.2	65.2	39.2	52.2
卸　売	71.4	42.9	28.6	28.6
小　売	58.2	54.6	57.4	40.7
サービス	66.7	60.0	55.2	51.7
建　設	76.7	69.8	69.8	51.2
不動産	28.6	28.6	14.3	14.3
運　輸	88.2	58.8	88.2	76.5
農　業	74.1	74.1	66.7	44.4

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前　期	今　期	見通し
製　造	△26.1	△30.4	△26.1	△17.4
卸　売	△35.7	△28.6	△35.7	△35.7
小　売	△23.6	△20.0	△20.4	△18.5
サービス	△40.0	△53.3	△44.8	△48.3
建　設	△51.2	△53.5	△58.1	△48.8
不動産	0.0	△14.3	△14.3	△14.3
運　輸	△64.7	△58.8	△64.7	△70.6
農　業	–	–	–	–

○残業時間D・I

	前年同期	前　期	今　期	見通し
製　造	4.4	8.7	8.7	△13.0
卸　売	0.0	△7.1	△7.1	△7.2
小　売	△10.9	△5.5	△1.9	△3.7
サービス	10.0	13.3	17.2	10.3
建　設	2.3	△4.6	4.7	△2.3
不動産	–	–	–	–
運　輸	5.9	△17.6	11.8	5.9
農　業	–	–	–	–

○借入金の動き・難易度

(%)

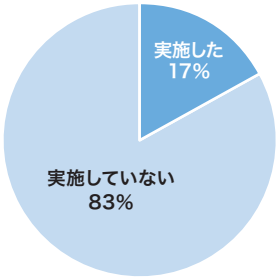
	借入金の実施	借入金の予定	民間金融機関からの借入難易度			
	し　た	あ　る	容　易	変わらない	難しい	該当なし
製　造	13.0	8.7	13.0	65.2	13.0	8.8
卸　売	14.3	21.4	14.3	71.4	–	14.3
小　売	22.2	11.1	3.7	64.8	13.0	18.5
サービス	13.8	20.7	6.9	86.2	–	6.9
建　設	30.2	14.0	25.6	55.8	9.3	9.3
不動産	28.6	14.3	14.3	57.1	14.3	14.3
運　輸	23.5	17.6	17.6	58.8	23.6	–

○設備投資の動き

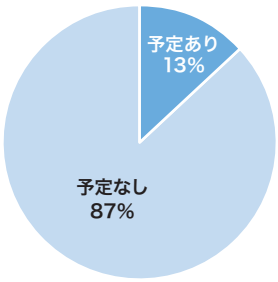
(%)

	前年同期	前　期	今　期	実施予定
製　造	26.1	13.0	8.7	8.7
卸　売	14.3	14.3	21.4	28.6
小　売	7.3	10.9	13.0	11.1
サービス	16.7	16.7	20.7	6.9
建　設	30.2	25.6	23.3	18.6
不動産	–	–	–	–
運　輸	11.8	23.5	17.6	11.8
農　業	11.1	18.5	11.1	11.1

2023年7月～9月期
設　備　投　資



今後３ヶ月以内
設備投資計画



製造業

概　況

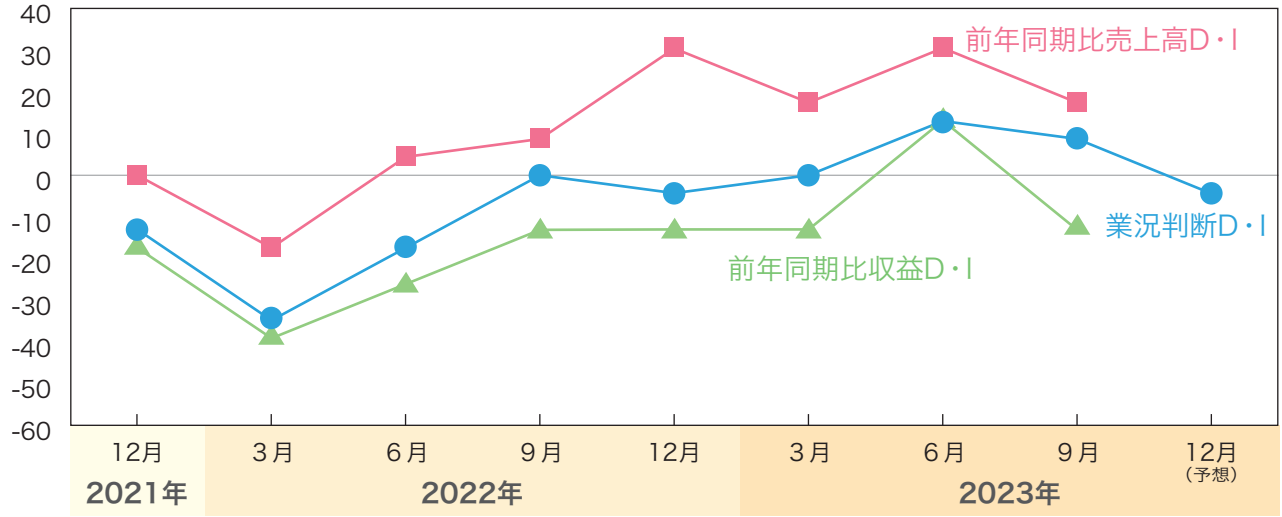
今期の業況判断指数（D・I値）は、8.7と前期（4月～6月）に比べ4.3ポイント下降しました。全体では横這いでしたが、窯業土石製造業でやや改善、食料品製造業で下降したため、押下げ要因となりました。売上D・I値も17.4ポイントとなり前期比13.1ポイント下降しました。出版・印刷産業で改善しましたが、食料品製造業及びその他製造業で下降しました。収益D・I値も△13.1ポイントと大きく下降、マイナス圏に戻りました。

	前年同期	前　期	今　期	見通し
業況D・I	0.0	13.0	8.7	△4.4
売上高D・I	8.7	30.5	17.4	－
収益D・I	△13.1	13.1	△13.1	－

来期の見通しについて

食料品製造業及び窯業土石製造業で下降、金属製品製造業・その他製造業で改善を見込む以外は、他の業種では現状維持が見込まれ、製造業全体で業況は今期実績からやや下落する見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

・経済情勢から、各取引先の経費削減の動向より、売上げ確保に苦戦している様子が伺える。
・取引先の経費削減意識が高まり、注文のロットが下がってきており、業界全体で価格競争が進んでいく見通しである。
・業種上、利幅は少なく収益確保は今後、長期的な課題となる。海外産より国産の商品の需要が高まってきている。（縫製業）

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	原材料高	65.2%	原材料高	47.8%
第2位	人手不足	34.8%	人手不足	34.8%
第3位	売上の停滞・減少 仕入先からの値上げ要請	30.4%	売上の停滞・減少 工場・機械の狭小・老朽化	26.1%

（複数回答）

当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	経費を節減する	65.2%	人材を確保する	47.8%
第2位	販路を広げる	43.5%	販路を広げる 経費を節減する	43.5%
第3位	人材を確保する	39.1%	新製品・技術を開発する	21.7%

（複数回答）

卸売業

概　況

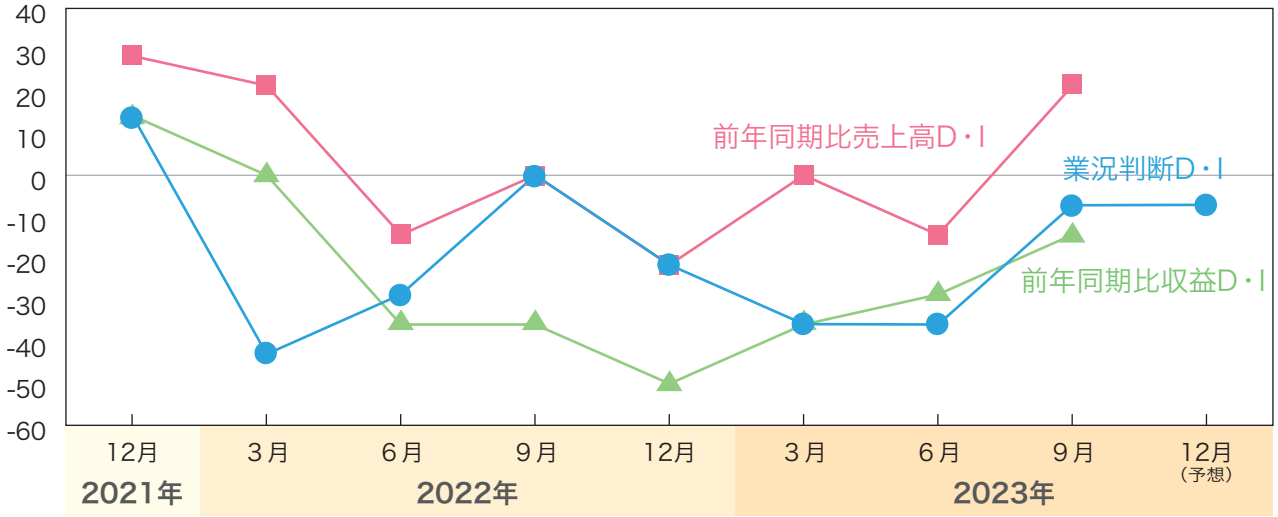
今期の業況判断指数（D・I値）は、△7.2と前期比（4月～6月）28.6ポイント上昇し、回復の兆しが見えます。食料・飲料卸売業、鉱物・金属及び建築資材等卸売業で改善し、他の業種は現状維持でした。売上D・I値は35.7ポイント改善しました。要因は、農畜産物卸売業、食料・飲料卸売業及び機械器具卸売業で改善していることが主因です。収益D・I値は14.3ポイント改善されましたが、仕入価格の上昇圧力は継続されており、採算向上への工夫と努力を要する状況が継続しました。

	前年同期	前　期	今　期	見通し
業況D・I	0.0	△35.8	△7.2	△7.1
売上高D・I	0.0	△14.3	21.4	－
収益D・I	△35.8	△28.6	△14.3	－

来期の見通しについて

来期も業種全体において、今期程度の水準を見込んでおり、冴えない業況が継続される見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

・２年振りに夏季ボーナスを支給した。
・プレミア建設券により小口リフォームが活発化、主取引先の建設業者に対する売上が増収となった。
・仕入価格の上昇を売上に転嫁でき、資金繰りに不安はない。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	売上の停滞・減少 仕入先からの値上げ要請	42.9%	人件費の増加	35.7%
第2位	人手不足	35.7%	取引先の減少 売上の停滞・減少 人手不足	28.6%
第3位	取引先の減少	28.6%	利幅の縮小 天候の不順 同業者間の競争の激化	21.4%

（複数回答）

当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	販路を広げる	71.4%	経費を節減する	78.6%
第2位	人材を確保する	50.0%	販路を広げる	57.1%
第3位	経費を節減する	42.9%	情報力を強化する	35.7%

（複数回答）

小売業

概　況

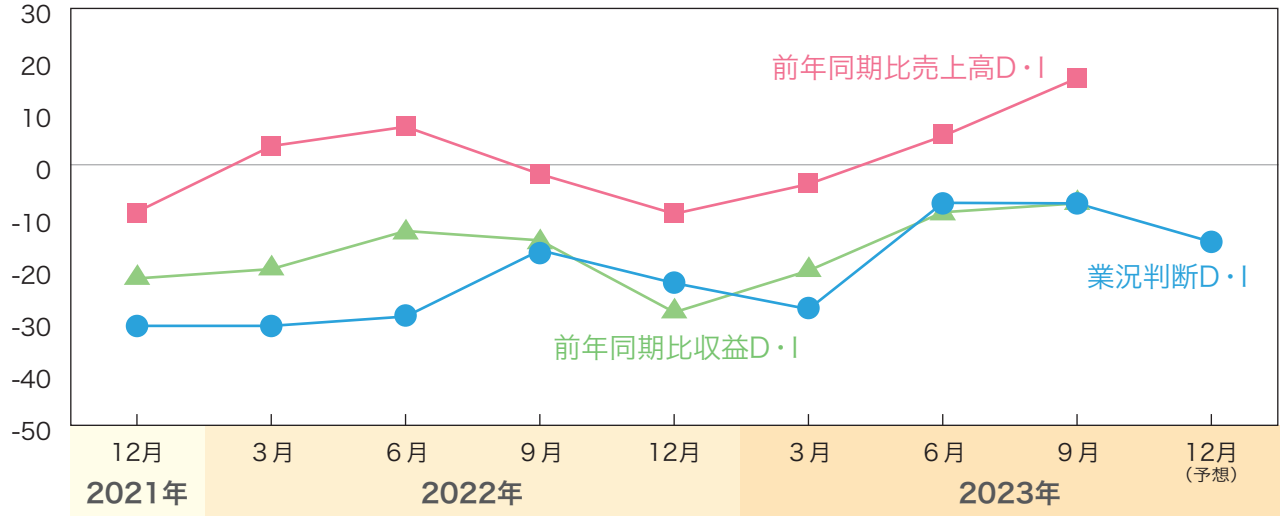
今期の業況判断指数（D・I値）は、△7.4と前期比（４月～６月）0.1ポイント下降し、やや冴えない業況でした。衣料品・飲食料品・飲食店で好転したものの、家具建具・スポーツ用品・その他小売業で下降しました。売上D・I値は売上及び単価の引上げにより上昇。収益D・I値は、価格転嫁により改善の兆しはあるが、人件費・営業費用の負担増から採算性の回復はやや鈍い状況です。

	前年同期	前　期	今　期	見通し
業況D・I	△16.4	△7.3	△7.4	△14.8
売上高D・I	△1.8	5.5	16.6	－
収益D・I	△14.5	△9.1	△7.4	－

来期の見通しについて

自動車・燃料及びその他小売業で下降が見込まれ、それ以外の業種は現状維持を見込み、小売業全体では今期実績を下回る見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- 事業承継について準備はできているが、承継後の在庫管理、仕入について課題が見える。
- 衛生用品特需が一巡し、売上げ停滞。
- 除雪機販売を主としているが、部品不足等により生産制限を受け、購入希望者全員への納品ができない状況である。
- 地域イベント復活に伴い、売上げ増加傾向。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	売上の停滞・減少	47.3%	商圏人口の減少	55.6%
第2位	商圏人口の減少	45.5%	売上の停滞・減少	38.9%
第3位	人手不足	25.5%	商店街の集客力の低下 仕入先からの値上げ要請	18.5%

（複数回答）

当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	経費を節減する	54.5%	経費を節減する	53.7%
第2位	人材を確保する	30.9%	商店街事業を活性化させる 売れ筋商品を取扱う	24.1%
第3位	売れ筋商品を取扱う	27.3%	人材を確保する	22.2%

（複数回答）

サービス業

概　況

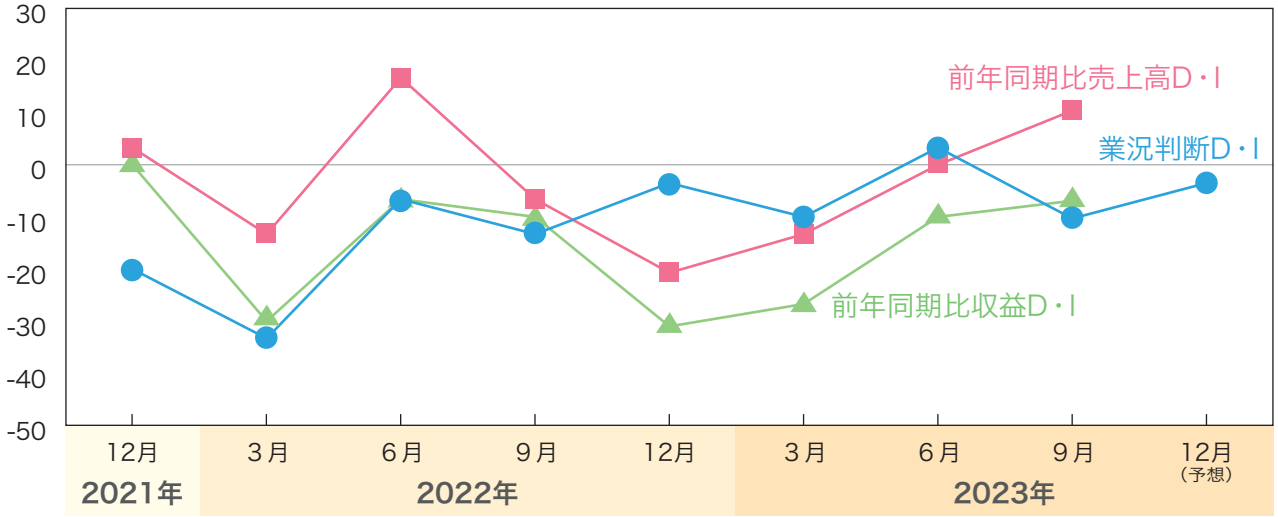
今期の業況判断指数（D・I値）は、△10.3と前期（4月～6月）に比べ13.6ポイント悪化しました。業種別では洗濯・理美容業及びその他サービス業で下降しました。売上D・I値は前期比10.4ポイント改善され、洗濯・理美容業及び自動車整備業の上昇によるものです。収益D・I値も前期比3.1ポイント改善されましたが、その他サービス業での上昇が押上げ要因となりました。

	前年同期	前　期	今　期	見通し
業況D・I	△13.3	3.3	△10.3	△3.5
売上高D・I	△6.6	0.0	10.4	－
収益D・I	△10.0	△10.0	△6.9	－

来期の見通しについて

洗濯・理美容・浴場業及び自動車整備業で上昇を見込んでいますが、その他のサービス業でやや下降する見通しにあり、全体ではやや改善を見込んでいます。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

・もうすぐインボイス制度が開始となるが、動向が気になる。
・業況には変化ないが、人繰りは厳しく高齢化も進んでいる。
・タイヤ販売価格の値上げ等により、若干の売上増加が見込まれる。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	人手不足	40.0%	人手不足	37.9%
第2位	材料価格の上昇	36.7%	材料価格の上昇 商圏人口の減小	34.5%
第3位	売上の停滞 商圏人口の減小	30.0%	人件費の増加 同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少	24.1%

（複数回答）

当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	販路を広げる 人材を確保する	43.3%	販路を広げる	48.3%
第2位	経費を節減する	33.3%	経費を節減する	44.8%
第3位	技術力を強化する	23.3%	人材を確保する	34.5%

（複数回答）

建設業

概　況

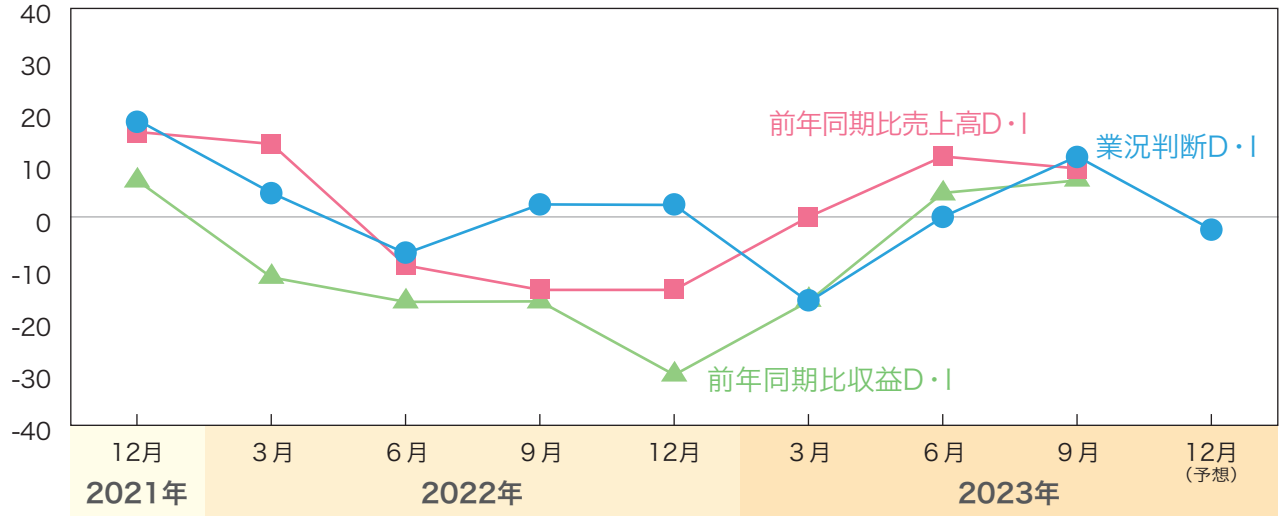
今期の業況判断指数（D・I値）は、11.6と前期（4月～6月）に比べ11.6ポイント上昇し、比較的安定した業況でした。業種別では、職別工事業で大きく上昇、設備工事業では下降しました。売上高D・I値で前期比2.3ポイントの下降となり、職別・総合工事業の下降に連動しました。収益D・I値は前期比で2.4ポイント改善し、高止まりしている仕入価格を販売価格に転嫁して、収益性の改善に努めているものと推察されます。

	前年同期	前　期	今　期	見通し
業況D・I	2.4	0.0	11.6	△2.4
売上高D・I	△14.0	11.6	9.3	－
収益D・I	△16.2	4.6	7.0	－

来期の見通しについて

総合工事業及び設備工事業で下降を予想し、職別工事業で現状維持の見込みから、今期実績より悪化する見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

・人材確保においては、将来的にも対策が必要な事と強く認識している。
・材料価格上昇が続いているが、請負価格への転嫁ができていない状況である。
・最近、ソーラーパネルを設置。すべてをカバーできないが、電気料は大きく削減できる見込みである。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	材料価格の上昇	62.8%	材料価格の上昇	65.1%
第2位	人手不足	48.8%	人手不足	46.5%
第3位	売上の停滞・減少	25.6%	売上の停滞・減少	25.6%

（複数回答）

当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	人材を確保する	58.1%	人材を確保する	55.8%
第2位	技術力を強化する	48.8%	技術力を強化する	46.5%
第3位	経費を節減する	46.5%	経費を節減する	41.9%

（複数回答）

不動産業

概　況

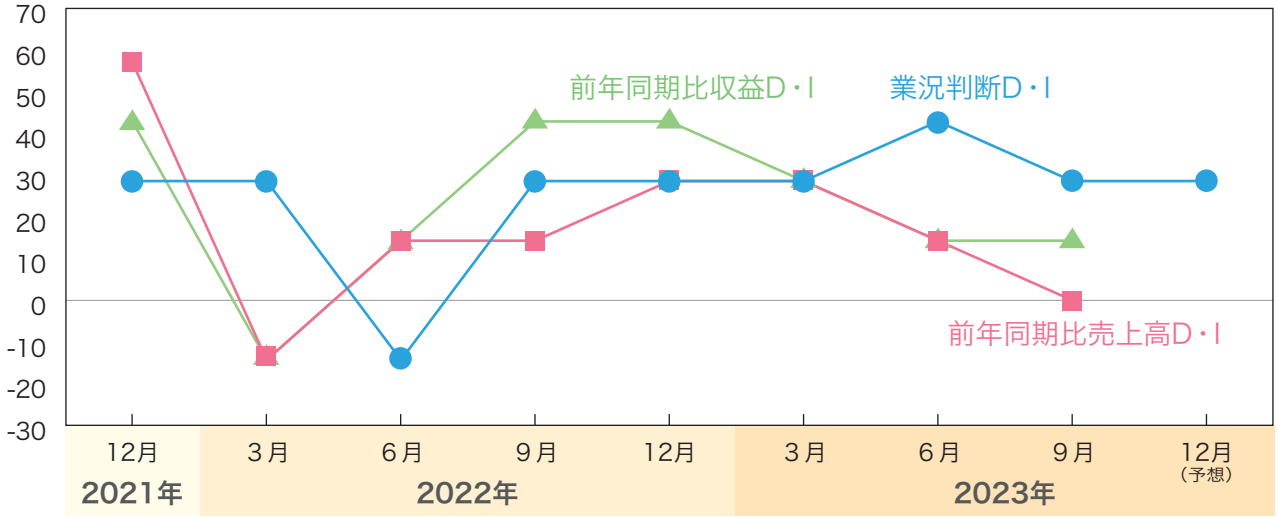
今期の業況判断指数（D・I値）は、28.6と不動産代理業・仲介業の下降に連動して、前期（4月～6月）よりも14.3ポイント悪化しましたが、比較的堅調な業況でした。売上高D・I値は、不動産代理業・仲介業の減収に伴い14.3ポイント悪化しました。一方、収益D・I値は仕入価格上昇や売上縮小の中で、企業努力により前期採算水準を維持しました。管内定住世帯の減少等により、取引市場はやや停滞傾向と推察されます。

	前年同期	前　期	今　期	見通し
業況D・I	28.6	42.9	28.6	28.6
売上高D・I	14.3	14.3	0.0	－
収益D・I	42.9	14.3	14.3	－

来期の見通しについて

各業種において、現状維持を予測し、不動産業全体では前期並みの業況となる見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

・商業施設を新築予定。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	商品物件の高騰	42.9%	商品物件の縮小 人件費以外の経費の増加 同業者間の競争の激化	42.9%
第2位	人件費の増加 人件費以外の経費の増加 同業者間の競争の激化 利幅の縮小	28.6%		
第3位			人件費の増加	28.6%

（複数回答）

当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	販路を広げる	57.1%	経費を節減する 宣伝・広告を強化する	71.4%
第2位	経費を節減する	42.9%	販路を広げる 機械化を推進する	28.6%
第3位	情報力を強化する 宣伝・広告を強化する 不動産の有効活用を図る	28.6%	不動産の有効活用を図る 情報力を強化する 提携先を見つける	14.3%

（複数回答）

運輸業

概　況

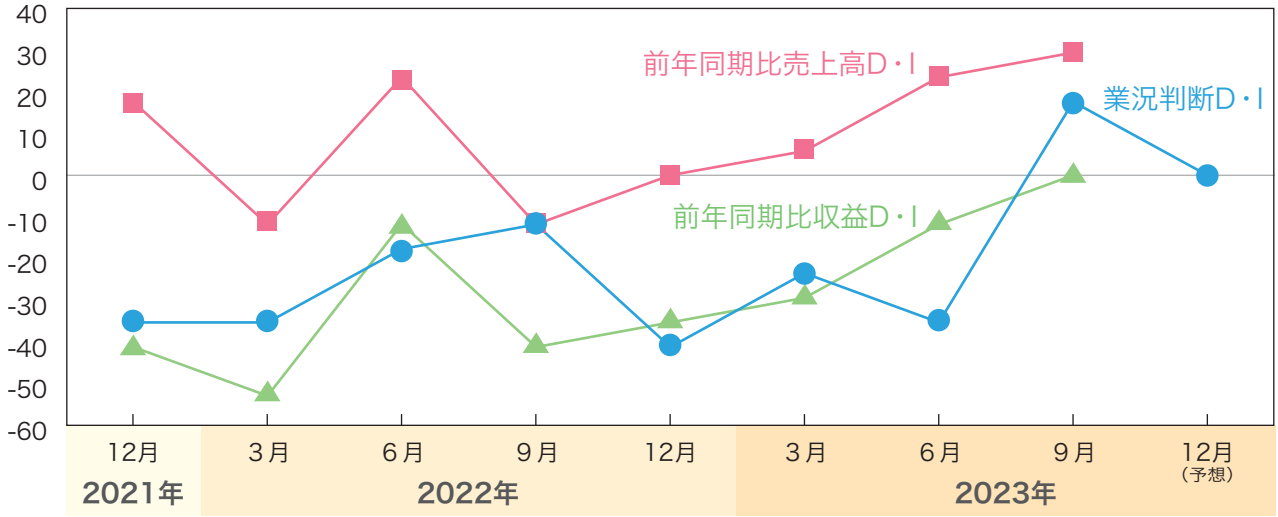
今期の業況判断指数（D・I値）は、17.6と前期（4月～6月）から52.9ポイントと大幅に改善しました。これはハイヤー・タクシー等旅客自動車業及び貨物自動車運輸・通運業で前期から大きく回復したことが要因です。売上高D・I値は人流・物流の回復が寄与し5.9ポイント、収益D・I値では11.8ポイント改善しました。燃料価格の上昇に対し価格転嫁も進んでいると思われます。

	前年同期	前　期	今　期	見通し
業況D・I	△11.8	△35.3	17.6	0.0
売上高D・I	△11.8	23.5	29.4	–
収益D・I	△41.2	△11.8	0.0	–

来期の見通しについて

来期は、貨物自動車運輸・通運業でやや好転を見込むものの、ハイヤー・タクシー等旅客自動車業で今期の反動もあり大きく下降を予測し、全体で悪化する見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

・新型コロナの５類移行後も、思うように回復していない。燃料高騰の補助金も追いついていない。
・燃料高止まり。運送業界の2024年問題の影響は少ない。
・冬場は除排雪業務主体で天候により売上が変動するが、それにとらわれない仕組みを検討する必要がある。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	燃料価格の上昇	100.0%	燃料価格の上昇	88.2%
第2位	人手不足	64.7%	人手不足	82.4%
第3位	売上の停滞・減少	47.1%	売上の停滞・減少	17.6%

（複数回答）

当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今　期	
第1位	経費を節減する	70.6%	経費を節減する	82.4%
第2位	販路を広げる	52.9%	販路を広げる	52.9%
第3位	情報力を強化する 教育訓練を強化する 労働条件を改善する	17.6%	人材を確保する	23.5%

（複数回答）

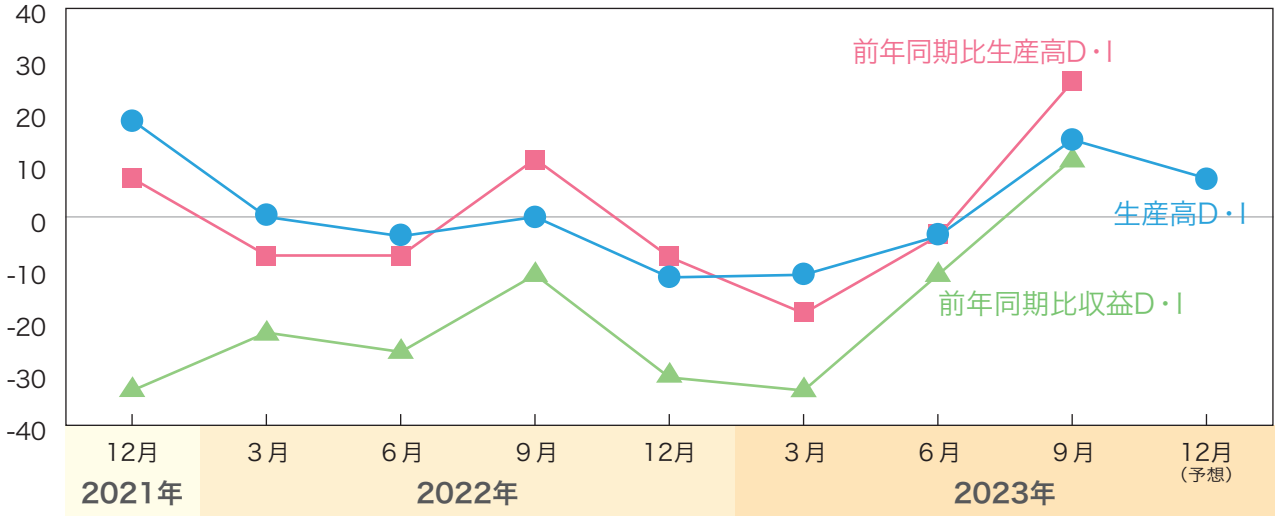
農業

概　況

生産高Ｄ・Ｉ値は、前期比18.5ポイント好転しました。８～９月は高気圧の張り出しの中で晴れた日が多く、平均気温は平年比3.4度も高い猛暑が続きました。一方、台風や前線の影響で大気の不安定な日もありました。収益Ｄ・Ｉは11.1となり前期比22.2ポイントと改善しました。水稲は例年に比べ収穫作業は10日ほど早まっております。大豆等の生育は６日早く、秋撒き小麦は播種作業がやや遅れている状況です。野菜関係は高温障害による規格外が増え、売上の減収が見込まれます。水稲においてもタンパク値が高い等、品質への影響が心配されます。米の概算払い金は、昨年対比1,000円（60kg当たり）程度上昇しましたが、生産コストが高止まりの状況が続いているため、価格転嫁が課題となっております。

	前年同期	前　期	今　期	見通し
生産高D・I	0.0	△3.7	14.8	7.4
前年同期比生産高D・I	11.1	△3.7	25.9	－
収益D・I	△11.1	△11.1	11.1	－

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

・品質の良い米を作っても、価格に転嫁できず、差別化を図ることが難しい。
・肥料等は価格がやや落ちついたが、燃料費等を考えると価格転嫁が追いついていない。
・資材・肥料等価格が高騰したままで苦しい。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今　期	
第１位	経費の増加	59.3%	生産資材等価格の上昇	59.3%
第２位	人手不足	51.9%	経費の増加	55.6%
第３位	生産者価格の低迷	44.4%	人手不足 生産者価格の低迷 機械設備の値上がり	33.3%

（複数回答）

特別調査　中小企業の将来を見据えた事業承継について

当金庫が今回実施致しました第149回中小企業景気動向調査と併せて（運輸業と農業を除く）170先について「中小企業の将来を見据えた事業承継について」をアンケート調査した結果です。

問１．貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。次の１～５の中から１つ選んでお答えください。また、貴社の後継者問題について最も当てはまるものを６～０の中から１つ選んでお答えください。

社長の年齢階層
1　20歳代、30歳代
2　40歳代
3　50歳代
4　60歳代
5　70歳代以上

後継者について
6　後継者はすでに決まっている
7　後継者はいるが、まだ決まっていない
8　候補者が見当たらない
9　まだ考えていない
0　後継者は必要ない（事業譲渡希望、廃業予定など）

		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総　計
社長の年齢階層	1　20歳代、30歳代	4.3%	7.1%	5.6%	6.9%	2.3%	0.0%	4.7%
	2　40歳代	4.3%	7.1%	9.3%	20.7%	9.3%	57.1%	12.3%
	3　50歳代	34.8%	35.7%	27.8%	37.9%	34.9%	14.3%	32.4%
	4　60歳代	21.7%	28.6%	24.1%	24.1%	37.2%	14.3%	27.1%
	5　70歳代以上	34.8%	21.4%	35.2%	10.3%	14.0%	14.3%	23.5%
後継者について	6　後継者はすでに決まっている	26.1%	21.4%	25.9%	20.7%	25.6%	14.3%	24.1%
	7　後継者はいるが、まだ決まっていない	21.7%	42.9%	25.9%	6.9%	32.6%	28.6%	25.3%
	8　候補者が見当たらない	21.7%	7.1%	3.7%	6.9%	7.0%	14.3%	8.2%
	9　まだ考えていない	21.7%	21.4%	33.3%	51.7%	37.2%	42.9%	35.3%
	0　後継者は必要ない（事業譲渡希望、廃業予定など）	8.7%	7.1%	9.3%	13.8%	0.0%	0.0%	7.1%

社長の年齢階層は、全体では「50歳代」が32.4%と最も多く、以下「60歳代」27.1%、「70歳代以上」が23.5%と続きました。

後継者問題については、「まだ考えていない」が35.3%と最も高く、以下「後継者はいるが、まだ決まっていない」25.3%、「後継者はすでに決まっている」24.1%と続いております。全体では、「後継者はすでに決まっている（後継者はいるが、まだ決まっていないを含む）」とする事業先は49.4%となっており、業種別では卸売業が64.3%で最も高く、建設業58.2%、小売業51.8%の順となっております。一方、サービス業では「まだ考えていない」と回答した事業先は51.7%となっており、半数を上回っております。

問２．貴社の現時点における事業承継の考え方について最もあてはまるものを、次の１～０の中から１つ選んでお答えください。

1　子供（娘婿などを含む）に承継
2　その他の同族者（兄弟、親戚など）に承継
3　非同族の役員、従業員に承継
4　非同族の社外人材に承継
5　M&A（第三者への事業譲渡）等
6　忙しくて考える余裕がない
7　何から手をつけていいかわからない
8　身近に相談相手がいない
9　現時点で考えるつもりはない
0　現在の事業を継続するつもりがない

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総　計
1　子供（娘婿などを含む）に承継	39.1%	42.9%	57.4%	34.5%	37.2%	42.9%	44.1%
2　その他の同族者（兄弟、親戚など）に承継	8.7%	14.3%	3.7%	13.8%	16.3%	0.0%	10.0%
3　非同族の役員、従業員に承継	8.7%	0.0%	1.9%	3.4%	14.0%	0.0%	5.9%
4　非同族の社外人材に承継	0.0%	0.0%	3.7%	6.9%	0.0%	14.3%	2.9%
5　M&A（第三者への事業譲渡）等	13.0%	0.0%	1.9%	3.4%	0.0%	0.0%	2.9%
6　忙しくて考える余裕がない	0.0%	7.1%	7.4%	6.9%	0.0%	0.0%	4.1%
7　何から手をつけていいかわからない	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	2.4%
8　身近に相談相手がいない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.6%
9　現時点で考えるつもりはない	17.4%	21.4%	16.7%	27.6%	27.9%	42.9%	22.9%
0　現在の事業を継続するつもりがない	0.0%	14.3%	7.4%	3.4%	0.0%	0.0%	4.1%

事業承継の考え方については、「子供（娘婿などを含む）に承継」すると回答した事業先は44.1%と最も多く、以下「現時点で考えるつもりはない」22.9%、「その他の同族者（兄弟、親戚など）に承継」が10.0%と続きました。特に、小売業では57.4%が「子供（娘婿などを含む）に承継」すると回答しています。

「子供（娘婿などを含む）に承継」や「その他の同族者（兄弟、親戚など）に承継」とする親族内承継を考えている事業先はも54.1%と半数を超えております。

「現在の事業を継続するつもりがない」の項目では、卸売業で14.3%と最も高く、他の業種と比較しても突出しています。

問３．貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。次の１～０の中から３つ以内で選んでお答えください。

1　事業の将来性
2　取引先との信頼関係の維持
3　後継者の力量
4　候補者の選定・確保
5　従業員の雇用維持
6　従業員の理解
7　譲渡金額
8　借入金・個人保証の引継ぎ
9　個人資産の取扱い・相続税等の税金対策
0　特になし

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総　計
1　事業の将来性	73.9%	50.0%	68.5%	51.7%	46.5%	57.1%	58.8%
2　取引先との信頼関係の維持	43.5%	64.3%	25.9%	31.0%	39.5%	14.3%	35.3%
3　後継者の力量	21.7%	50.0%	16.7%	31.0%	41.9%	28.6%	29.4%
4　候補者の選定・確保	8.7%	0.0%	9.3%	20.7%	14.0%	14.3%	11.8%
5　従業員の雇用維持	21.7%	21.4%	11.1%	27.6%	14.0%	14.3%	17.1%
6　従業員の理解	13.0%	21.4%	13.0%	20.7%	20.9%	28.6%	17.6%
7　譲渡金額	17.4%	0.0%	7.4%	0.0%	9.3%	14.3%	7.6%
8　借入金・個人保証の引継ぎ	13.0%	7.1%	9.3%	13.8%	7.0%	28.6%	10.6%
9　個人資産の取扱い・相続税等の税金対策	4.3%	7.1%	5.6%	0.0%	16.3%	14.3%	7.6%
0　特になし	0.0%	0.0%	3.7%	6.9%	9.3%	14.3%	5.3%

（複数回答）

事業承継時の問題点として、「事業の将来性」と回答した事業先は58.8%と最も多く、以下「取引先との信頼関係の維持」35.3%、「後継者の力量」が29.4%と続きました。項目別では、「事業の将来性」では製造業が73.9%と最も高く、「取引先との信頼関係の維持」「後継者の力量」では、卸売業が夫々 64.3%、50.0%と最も高い回答結果となりました。

問４．中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫には何を期待しますか。信用金庫に対して期待していること、もしくは今後期待したいことについて、最もあてはまるものを次の１～０の中から１つ選んでお答えください。

1　後継者教育・セミナー等
2　個別相談
3　専門家(税理士等)の紹介
4　事業譲渡先の紹介
5　事業承継前後の個人保証・担保への対応
6　早期の事業承継の準備への助言等
7　承継後の事業計画策定への助言等
8　自社の問題であるため自社で解決
9　特にない
0　その他（　　）

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総　計
1　後継者教育・セミナー等	17.4%	28.6%	24.1%	31.0%	20.9%	14.3%	23.5%
2　個別相談	26.1%	14.3%	22.2%	13.8%	11.6%	0.0%	17.1%
3　専門家（税理士等）の紹介	13.0%	0.0%	14.8%	6.9%	7.0%	0.0%	9.4%
4　事業譲渡先の紹介	4.3%	0.0%	3.7%	3.4%	0.0%	0.0%	2.4%
5　事業承継前後の個人保証・担保への対応	4.3%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%
6　早期の事業承継の準備への助言等	8.7%	7.1%	1.9%	10.3%	4.7%	14.3%	5.9%
7　承継後の事業計画策定への助言等	8.7%	14.3%	0.0%	3.4%	11.6%	14.3%	6.5%
8　自社の問題であるため自社で解決	8.7%	14.3%	9.3%	3.4%	14.0%	0.0%	9.4%
9　特にない	8.7%	21.4%	18.5%	27.6%	30.2%	57.1%	23.5%
0　その他（　　）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

事業承継において、信用金庫に期待することは、「後継者教育・セミナー等」と「特にない」と回答した事業先はいずれも23.5%と最も多く、次に「個別相談」17.1%、「自社の問題であるため自社で解決」が9.4%と続きました。
「特にない」と回答した業種別では、不動産業が57.1%と最も高く、建設業30.2%、サービス業27.6%の順となっております。

問５．近年、中小企業におけるM&A（第三者への事業譲渡）が話題になっていますが、M&Aについてどのような認識を持っていますか。下記の１～０の中から３つ以内で選んでお答えください。

1　事業を最適な先に譲渡できる
2　従業員の雇用を維持できる
3　取引関係を維持できる
4　事業拡大戦略の１つである
5　乗っ取りなど負のイメージがある
6　中小企業にはなじまない
7　従業員の雇用維持に不安がある
8　専門家の支援が必要なものである
9　その他（　　）
0　よくわからない

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総　計
1　事業を最適な先に譲渡できる	21.7%	35.7%	29.6%	27.6%	20.9%	28.6%	26.5%
2　従業員の雇用を維持できる	43.5%	35.7%	20.4%	37.9%	27.9%	28.6%	30.0%
3　取引関係を維持できる	34.8%	21.4%	27.8%	31.0%	27.9%	28.6%	28.8%
4　事業拡大戦略の１つである	17.4%	14.3%	14.8%	13.8%	11.6%	0.0%	13.5%
5　乗っ取りなど負のイメージがある	8.7%	7.1%	5.6%	6.9%	14.0%	0.0%	8.2%
6　中小企業にはなじまない	17.4%	28.6%	13.0%	20.7%	20.9%	28.6%	18.8%
7　従業員の雇用維持に不安がある	13.0%	7.1%	7.4%	6.9%	23.3%	42.9%	13.5%
8　専門家の支援が必要なものである	30.4%	7.1%	20.4%	10.3%	27.9%	57.1%	22.4%
9　その他（　　）	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
0　よくわからない	4.3%	7.1%	11.1%	10.3%	11.6%	0.0%	9.4%

（複数回答）

M&Aに対するに認識については、「従業員の雇用を維持できる」と回答した事業先が30.0%と最も多く、以下「取引関係を維持できる」28.8%、「事業を最適な先に譲渡できる」26.5%と続きました。
「専門家の支援が必要なものである」と認識する事業先は、不動産業で57.1%と最も高く、製造業30.4%、建設業27.9%の回答結果となりました。

主要経済指標

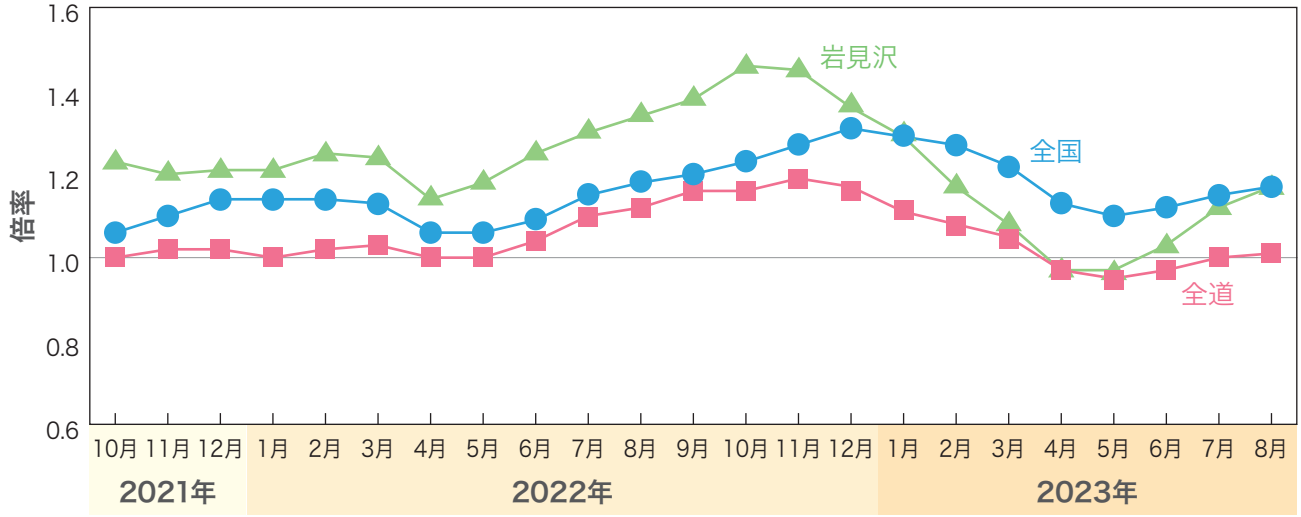
1. 空知管内・江別の人口動向

（人）

	2022年				2023年							
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
岩見沢市	77,095	77,000	76,864	76,760	76,618	76,472	76,168	76,087	76,002	75,982	75,949	75,892
美唄市	19,646	19,584	19,552	19,501	19,485	19,431	19,333	19,278	19,242	19,197	19,175	19,143
三笠市	7,800	7,755	7,742	7,722	7,708	7,672	7,626	7,614	7,600	7,588	7,552	7,528
栗山町	11,176	11,146	11,130	11,109	11,084	11,063	11,016	11,010	10,994	10,985	10,973	10,976
南幌町	7,469	7,500	7,525	7,545	7,553	7,577	7,610	7,648	7,665	7,680	7,691	7,719
由仁町	4,818	4,804	4,790	4,784	4,766	4,758	4,738	4,736	4,723	4,717	4,711	4,712
長沼町	10,220	10,194	10,177	10,161	10,144	10,131	10,099	10,100	10,099	10,097	10,105	10,108
江別市	119,334	119,319	119,252	119,174	119,119	119,075	118,775	118,871	118,824	118,785	118,764	118,771

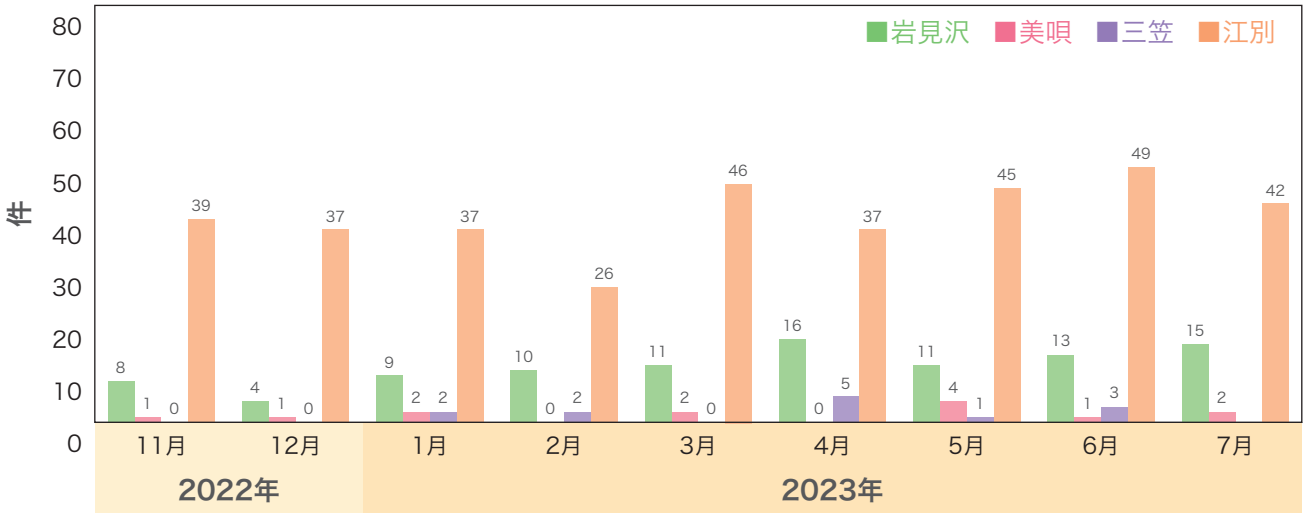
（資料：空知総合振興局）

2. 岩見沢管内の有効求人倍率



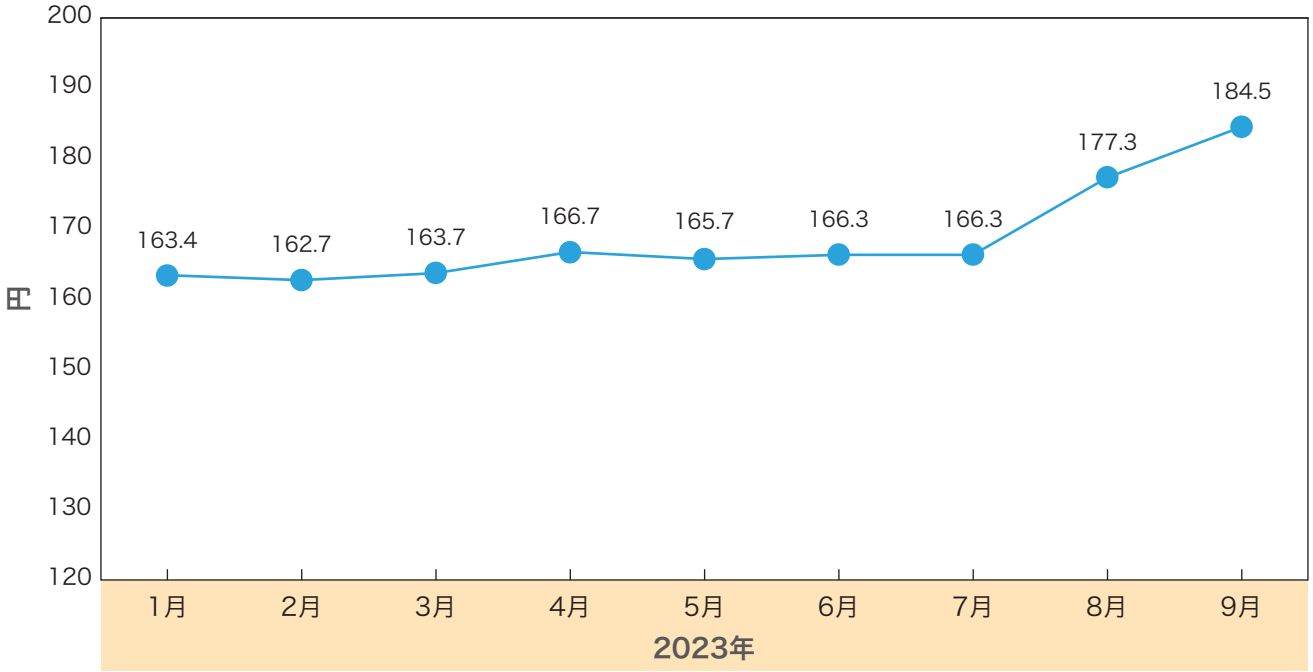
（資料：北海道労働局）

3. 建築確認申請数（4号）　※4号…木造2階建て以下の建築物

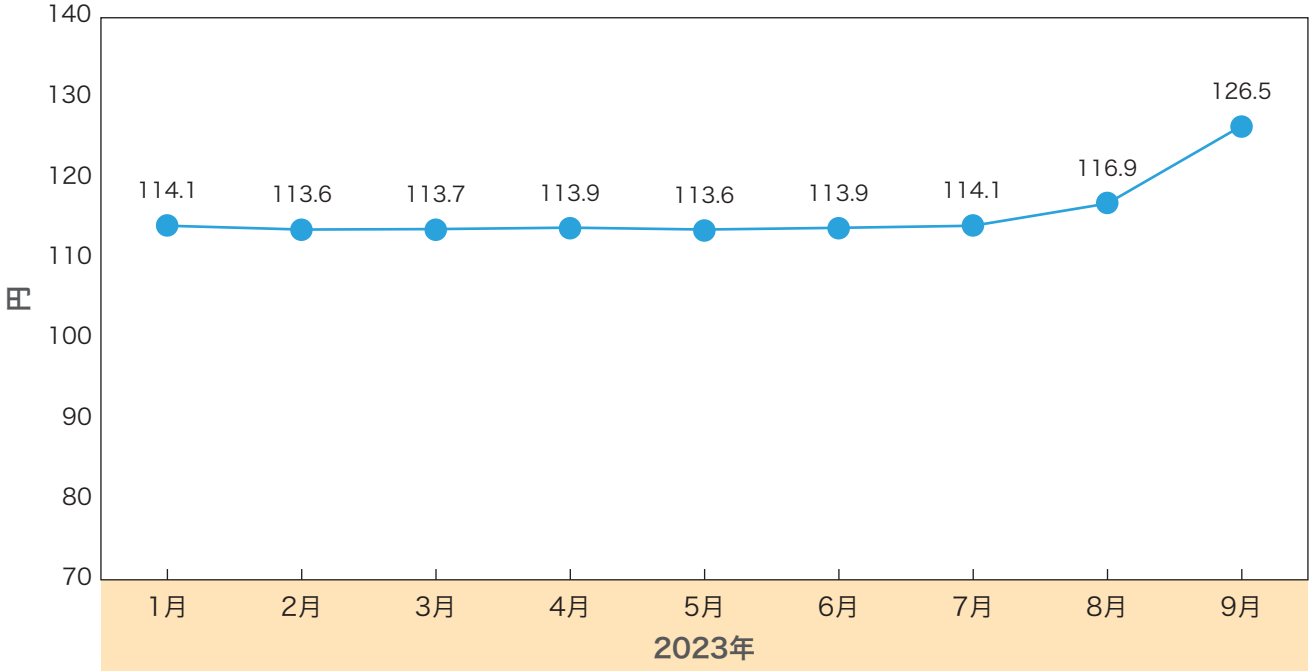


4. 管内のガソリン価格・灯油価格
（岩見沢市・美唄市・三笠市・江別市・栗山町の平均を算出したもの）

①ガソリン



②灯油



（資料：北海道消費者協会）

ビジネスマッチングコーナー

このコーナーでは、空知信用金庫のお取引先企業様をご紹介しています。皆様の販路拡大やビジネスの連携をサポートする「誌上ビジネスマッチング」の場として、お役立てください。お問い合わせは、直接掲載企業もしくは、当金庫 地域支援部までご連絡ください。

合同会社ベジタボ

取引店：栗山支店

合同会社ベジタボは、2021年秋に設立しました。
2017年に発足した栗山町と由仁町のさつまいも生産者による団体「そらち南さつまいもクラブ」で生産するさつまいも「由栗いも」をメインに加工品の商品開発、販売を行う事により地域活性化を目指しております。
「由栗いも」は、本州より手間と時間がかかりますが、寒冷地で「ゆっくり時間をかけて育つ事」と収穫後に独自の技術で「ゆっくり時間をかけて熟成させる」こと、そして栗山・由仁の２町の頭文字を掛け合わせ「由栗いも」というブランド名になりました。
「由栗いものタルトケーキ」はサクサク食感のタルト生地の上にカスタードクリームと北海道産さつまいも「由栗いも」のペーストをしぼり焼き上げたタルトケーキです。
また９月より栗山町の谷田製菓㈱とコラボし、「由栗いも　畑のキャラメル」も販売しております。サツマイモ好き、スイーツ好きには是非召し上がって頂きたい逸品です。

〒068-0351　夕張郡栗山町阿野呂175
担当者：井澤　綾華 様
Tel 080-5838-6839 Fax 0123-72-4440
Hp https://home.tsuku2.jp/storeDetail.php?scd=0000204755
E-mail kngwyk.aaaaaaa@gmail.com

空知信用金庫の社会的取組

空知信用金庫では、地域のお客様を直接サポートする機能強化を図るため、平成29年４月、地域支援室を立ち上げ、令和３年３月より地域支援部となりました。
地域支援部では、以下のような事業や取組みを行っております。

空知信用金庫杯　少年野球大会（令和5年7月22日・23日）

野球を愛好する多くの子供達に競技の機会を設け、スポーツを通じて健康で明朗な心身の推進・育成を図る事を目的とし、２日間わたり岩見沢市内にて開催されました。当金庫の営業エリアである南空知管内から10チームがエントリーし、少年たちの闘志溢れるプレー姿が繰り広げられました。

そらちしんきん 住宅ローン 特別金利

お借入時年齢が50歳未満の方対象

充実した保障がすべて金利上乗せ 全団信保険料※なし

※保険会社の判断により加入できない場合があります。(保険料は当金庫が負担)

金利は 令和5年6月1日現在 のものとなります。

※市場金利の動向により、将来金利を見直すことがございますので、適用金利については窓口にお問い合わせください。

変動金利型 新規受付利率

年 0.90%

お借り入れ後の利率は当金庫の定める住宅ローンプライムレートの変更に伴い、その変動幅に応じて変更されます。
利率の変更は毎年10月に行い、新利率は翌々月からの適用となります。

固定金利期間選択型 新規受付利率

固定金利特約期間 10年

年 1.05%

固定金利期間選択型については固定金利期間終了後は、ご完済まで店頭基準金利から年1.50%優遇いたします。

スマホで簡単申込み WEBで住宅ローン

事前審査お申込みが 2ステップ で簡単に!!

ステップ1 空知信用金庫のホームページにアクセス

空知信用金庫で検索

空知信用金庫 検索

スマホの方はこちらから

事前審査お申込みに 365日・24時間対応

ステップ2 サイト内の住宅ローン受付に必要事項を入力

当金庫ホームページ内の住宅ローンWEB受付のお申込み欄に必要事項をご入力していただき、事前審査お申込み完了!!
事前審査結果は後日お知らせいたします。
※しんきん保証基金保証付住宅ローンのみ事前審査後の本申込みは営業店にて受付いたします

特別金利を適用いただける方

❶～⓫のうち、4項目以上のお取引が必要となります。

❶ 給与振込または年金受取(2項目分とします)
❷ 公共料金等の自動振替(公共料金・クレジット・保険料・税金等のうち2つ以上)
❸ カードローン
❹ しんきんカード(公共料金支払セットの場合は2項目分とします)
❺ 通帳レス口座
(※❶～❺は、すべて家族取引を含みます。)
❻ LINEおともだち登録
❼ 大学生以下のお子様が3名以上もしくはひとり親家庭の方
❽ 当金庫営業店舗所在市町(※)以外の地域から移住される方
❾ 勤務先が「健康企業宣言」もしくは全国健康保険協会から「健康事業所宣言」の認定を受けている企業の方
❿ 当金庫と提携する事業者からの紹介、または提携企業にお勤めの方
⓫ 認定低炭素住宅・長期優良住宅の建設または購入の場合
※岩見沢市、美唄市、三笠市、栗山町、由仁町、長沼町、南幌町、札幌市、江別市

「万が一への備え」に、「けがや病気への備え」を加えて、安心をお届けします。

- リビング・ニーズ特約付団体信用生命保険 一般団信
- 3大疾病保障特約付リビング・ニーズ特約付団体信用生命保険 3大疾病団信
- 団体信用就業不能保障保険3大疾病保障特約付リビング・ニーズ特約付団体信用生命保険 就業不能・3大疾病団信

死亡	死亡または所定の高度障害状態に該当したら	住宅ローン残高が0円	一般団信 / 3大疾病団信 / 就業不能・3大疾病団信	地銀等の団信 ✔
	余命6ヶ月以内と判断されたら	住宅ローン残高が0円		✔
＋ 3大疾病	がんと診断確定されたら	住宅ローン残高が0円	3大疾病団信 / 就業不能・3大疾病団信	✔
	脳卒中・急性心筋こうそくで ❶所定の手術を受けたら、または❷所定の状態が60日以上継続したら	住宅ローン残高が0円		✔
＋ その他のケガや病気	高血圧・糖尿病・慢性膵炎・肝硬変・慢性腎不全・ウイルス肝炎の6疾病を含むほぼすべてのケガや病気で所定の就業不能状態が3ヶ月を超えて継続したら以後の継続している期間においては	月々のローン返済が0円	就業不能・3大疾病団信	✔
	さらに 所定の就業不能状態が12ヶ月を超えて継続したら	住宅ローン残高が0円		✔

詳しくは店頭または得意先係までお問い合わせください。

LINEでそらちしんきんと友だちになろう!

様々な情報をLINEでお届け!

店舗・ATMのご案内

店　　舗

					ATMご利用時間 ●平日	●土曜日	●土・日・祝日
岩見沢市内店	本　　店	〒068-8660	岩見沢市3条西6丁目2番地1	TEL 0126-22-1150	8:45～19:00		9:00～17:00
	鉄北支店	〒068-0042	岩見沢市北2条西11丁目1番3号	TEL 0126-24-6233	9:00～18:00		–
	日の出支店	〒068-0824	岩見沢市日の出北4丁目2番17号	TEL 0126-25-4555	9:00～18:00		–
	美園支店	〒068-0814	岩見沢市美園4条5丁目1番10号	TEL 0126-24-6363	9:00～18:00		–
	幌向支店	〒069-0371	岩見沢市幌向南1条2丁目112番地1	TEL 0126-26-2021	9:00～18:00		9:00～17:00
	栗沢支店	〒068-0127	岩見沢市栗沢町本町55番地1	TEL 0126-45-2324	9:00～18:00		9:00～17:00
南空知管内	美唄支店	〒072-0023	美唄市大通西1条南1丁目3番6号	TEL 0126-62-7511	9:00～18:00		9:00～17:00
	三笠支店	〒068-2153	三笠市幸町12番地7	TEL 01267-2-2383	9:00～18:00		9:00～17:00
	栗山支店	〒069-1511	夕張郡栗山町中央3丁目3番地	TEL 0123-72-0208	9:00～18:00		9:00～17:00
	由仁支店	〒069-1297	夕張郡由仁町本町148番地	TEL 0123-83-2011	9:00～18:00		–
	長沼支店	〒069-1332	夕張郡長沼町中央南1丁目1番12号	TEL 0123-88-2131	9:00～18:00		–
	南幌支店	〒069-0237	空知郡南幌町栄町1丁目3番1号	TEL 011-378-2311	9:00～18:00		9:00～17:00
札幌市・江別市内	札幌支店	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6丁目2番地	TEL 011-271-3421	9:00～18:00		–
	札幌北支店	〒001-0024	札幌市北区北24条西6丁目1番5号	TEL 011-757-3435	9:00～18:00		–
	琴似支店	〒063-0812	札幌市西区琴似2条3丁目1番12号	TEL 011-644-4422	9:00～18:00		–
	白石支店	〒003-0026	札幌市白石区本通5丁目南4番36号	TEL 011-862-7766	9:00～18:00		–
	平岸支店	〒062-0932	札幌市豊平区平岸2条9丁目2番11号	TEL 011-831-8555	9:00～18:00		–
	厚別支店	〒004-0065	札幌市厚別区厚別西5条2丁目1番27号	TEL 011-895-2111	9:00～18:00		–
	札幌西支店	〒063-0061	札幌市西区西町北20丁目3番10号	TEL 011-666-8111	9:00～18:00		–
	札幌東支店	〒065-0019	札幌市東区北19条東16丁目1番8号	TEL 011-783-3611	9:00～18:00		–
	江別支店	〒067-0074	江別市高砂町8番地3	TEL 011-383-1011	9:00～18:00		9:00～17:00

店舗外ATMコーナー

			ご利用時間 ●平日	●土・日・祝日
岩見沢市	JR岩見沢駅 (共同ATM)	岩見沢市有明町南	9:00～21:00	9:00～21:00
	ビッグハウス岩見沢店 (共同ATM)	岩見沢市大和1条9丁目	9:00～21:00	9:00～21:00
	イオン岩見沢店	岩見沢市大和4条8丁目	9:00～19:00	9:00～17:00
	本店春日出張所	岩見沢市春日町2丁目2番22号	9:00～17:00	–
	一条出張所	岩見沢市1条西1丁目	9:00～17:00	–
	であえーる岩見沢 (共同ATM)	岩見沢市3条西4丁目	9:00～19:00	9:00～18:00
	岩見沢市役所	岩見沢市鳩が丘1丁目	9:00～17:30	–
	岩見沢市役所 北村支所 (共同ATM)	岩見沢市北村赤川593番地の1	9:00～17:00	–
	北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目	9:00～17:00	–
三笠市	イオンスーパーセンター三笠店	三笠市岡山1059番地の1	9:00～19:00	9:00～17:00

空知信用金庫

第149回地域企業景気動向調査
景況レポート 2023.10
発行 2023年10月31日

〒068-8660 岩見沢市3条西6丁目2番地1
空知信用金庫　地域支援部
TEL 0126-22-1171
http://www.shinkin.co.jp/sorachi/